

2010年度商社リーグ 第4回代表者会議 議事録

日時	12月13日(月) 20:00~22:00
会場	兼松(株) 2階会議室
出席チーム	全17チーム
欠席チーム	無し
議事録	日本ユニシス 越智 小鉢 堀

議題

内容

<p>議事</p> <p>・はじめに</p> <p>①商社リーグ報告</p>	<p>※以下、敬称略させていただきます。</p> <p>①商社リーグ報告 ②審判レベルの向上について ③新規グラウンド提供に関して ④その他</p> <p>■商社リーグとは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスで結果を出す人とはどんな人であるか？(役員会 金田) <ul style="list-style-type: none"> →常に先のことを考えることができる人 (阪和 酒井) →自ら行動できる人(双日 戸田) →先見性も持った人(住友 谷口) →目的意識を持っている人(住友 松田) ・個人が結果を出すに必要なのは才能と努力ともうひとつは何だと考えるか？(役員会 金田) <ul style="list-style-type: none"> →環境(豊通 佐久間) →仲間(日立 佐々木) →環境(JFE 林) →場所(大倉 上田) →自信(蝶理 十文字) →継続(物産 堀) →運(蝶理 十文字) ⇒才能と努力と運が必要である。 それぞれは足し算でなく掛け算である。即ちひとつでも“0”であれば結果は“0”である。(役員会 金田) ・運をコントロールするために必要なものは何であるか？(役員会 金田) <ul style="list-style-type: none"> →リスクに対する準備(丸紅 家垣) →目標に向かっていく真剣さ(阪和 浦田) ⇒取り組む姿勢が大事である。 不変である事実を踏まえた上で前向きに捕らえ、次の取り組み方を考えることがリーグには必要。(役員会 金田) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>※過去に商社リーグの体制建て直しを迫られた時</p> <ul style="list-style-type: none"> ①Leaderとして前向きに取り組む ②商社マンとしてやるときはやる <p>⇒難しい局面でこそ前向きに取り組む姿勢が重要であり、</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ガンジーの幸せの方程式とは？(役員会 金田) <ul style="list-style-type: none"> →考えて話して行動すること。(豊通 沼波) →考えて実行すること 前回合宿時に11人参加と宣言し、実行した。実行することでチームを変えることが出来た。 無理かもしれないことでも言ったことは実行することが大切である。(JFE 古川) ⇒今シーズンのJFE商事は1部3位と、過去最高の成績を残している。 才能・努力・運が、結果を重要な要素だということは個人に限らずチームについても当てはまっている。(役員会 金田) <p>①商社リーグ報告</p> <p>■商社リーグ報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進捗状況(総括) 【最終順位】 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>☆1部☆</p> <p>優勝 三菱商事 2位 伊藤忠商事 3位 JFE商事 . . . 入替戦出場 兼松</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>☆2部☆</p> <p>優勝 岩谷産業 ←1部昇格 2位 双日 ←入替戦出場</p> </div> </div> <p>※入れ替え戦のスケジュール 12/18 兼松vs阪和 @兼松G 豊通vs双日 @兼松G</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提出物の状況 <ul style="list-style-type: none"> →リーグが進むにつれて向上している。(主幹事 横田) →才能、努力、運で言ったら努力が向上した効果である。 その向上したパフォーマンスを来期まで維持してほしい。そのために早めから確実な引継ぎの実施を。(役員会 金田) <p>②審判レベルの向上について</p> <p>■住友商事よりMC報告書/項目再検討の結果報告(住商 島本)</p> <ul style="list-style-type: none"> →MCについての改善だけでなく、審判レベルの向上も考慮した新しいMC報告書フォーマットの作成。 審判もMCも劇的には変化しない。 いかにリスクヘッジをするか。いかに真剣に取り組めるかを考慮した5つの改善点の提案 <p>①満点を簡単に出さない</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>【現状】</th> <th>【改善案】</th> <th>【改善することによる変化予想】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>評価点数：1~5 (5段階評価)</td> <td>評価点数：1~10 (10段階評価)</td> <td>・評価を細分化することで満点を出しにくくなる</td> </tr> <tr> <td>試合後の採点のみ</td> <td>ハーフタイムに審判・MC・各チーム代表者によるフィードバックを実施する</td> <td>・ハーフタイムにフィードバック/議論することで、試合中に少しでも改善を図ることができる</td> </tr> </tbody> </table> 	【現状】	【改善案】	【改善することによる変化予想】	評価点数：1~5 (5段階評価)	評価点数：1~10 (10段階評価)	・評価を細分化することで満点を出しにくくなる	試合後の採点のみ	ハーフタイムに審判・MC・各チーム代表者によるフィードバックを実施する	・ハーフタイムにフィードバック/議論することで、試合中に少しでも改善を図ることができる
【現状】	【改善案】	【改善することによる変化予想】								
評価点数：1~5 (5段階評価)	評価点数：1~10 (10段階評価)	・評価を細分化することで満点を出しにくくなる								
試合後の採点のみ	ハーフタイムに審判・MC・各チーム代表者によるフィードバックを実施する	・ハーフタイムにフィードバック/議論することで、試合中に少しでも改善を図ることができる								

②審判・MC業務担当を2チーム混在編成とする

【現状】	【改善案】	【改善することによる変化予想】
審判、MCはそれぞれ同じチームで担当する	審判、MC担当を複数チームで担当する	・緊張感の保持 ・各チーム間のコミュニケーション形成 →業務を通じてプロフェッショナルリズムを学習、また各チーム間の関係性構築が試合中の円滑な進行にもつながる

③順位決定の際に審判等の点数を加味する

【現状】	【改善案】	【改善することによる変化予想】
勝ち点および得失点差による順位決定	勝ち点および得失点差に加え、審判等の業務遂行度を順位決定に加味する	・より真剣に取り組む

④審判レベルの把握

【現状】	【改善案】	【改善することによる変化予想】
-	MC報告書にサッカー歴を記載する	・サッカー経験年数が問題発生時のひとつの訴求点となる ・審判業務に関する透明度の向上により、担当者の緊張感

⑤代表者会議の内容をチーム内へフィードバックする

【現状】	【改善案】	【改善することによる変化予想】
-	会議の内容をチーム内にフィードバックする 若手を連れてくる	・チーム内で商社リーグに対する情熱を共有することで、運営のプロフェッショナルリズムを向上

・改善案に対するコメント（役員会 金田）

②のアイデア（MCと審判との混在）は今までにない発想。

⑤はリーグ全体として大事。グラウンドに関する考え方もチームによって温度差があるものの、今回の住商のようにリーグのために考えている人／チームもいるはずである。

⇒審判、MC改善とグラウンドの件に関しては意見をチーム毎に取り纏め提出してはどうだろうか。

・集めた方がよい。（伊藤忠 松山）

・纏めた方がよい。（岩谷 村松）

・責任を持って最後まで行うことが重要でありよいと感じる。（住金 松田）

【結論】グラウンド利用可能状況とMC改善に関する全チームの意見を確認する

⇒今週中に主幹にて前回議事録を踏襲しフォームを作成して各チームへ展開、今年中に全チーム提出する

■運営要綱/追加文言の件

・試合前の挨拶の際に、ラフプレーにはカードを出す等の宣言をする。（兼松 横田）

→異議なし

【結論】試合前の挨拶で、ラフプレーには積極的にカードを出す旨を運営要綱に追加する

・各チーム、予め審判登録した5名の中から主審を出すことを運営要綱に盛り込むか？（兼松 横田）

→サッカー経験が豊富な人が担当する方が、プレーしている側にとっては安心感がある。

だが審判レベルの全体的な向上を考慮すると、サッカー経験が浅い人が担当する事も必要である。（伊藤忠 横道）

→5名全員が審判担当の日に都合がつかない場合も考えられる。（長瀬 三輪）

→5名と決定することで、その5名に負担と責任が集中してしまう。（ユニシス 小鉢）

・人数制限を設けない、別の解決策はないだろうか？（役員会 金田）

→審判登録が5名では少なすぎる。（大倉 大谷）

→チームデータ登録に新しい枠（審判可能枠）をつくり、選手ごとに審判担当の可否を記載する。（三菱 財部）

→各チーム“原則”何人であればシーズンを通して調整可能だろうか。（役員会 金田）

→現状では3人で回すことができおり、5人の枠があれば問題ない。（豊通 沼液）

→審判を担当していた人は試合への参加率も高いため、5人で問題ない。（ユニシス 越智）

→チーム内に審判をできる人が多いため、5人に制限すると調整が難しくなる。（物産 堀）

【結論】各チーム予め登録された原則数名（？）の中から輩出することとする

③新規グラウンドについて

■新規グラウンドについて

・多摩市に4時間使用可能であるグラウンドが3つある。在籍住民・在勤者が優先的に使用可能である。（双日 天野）

→多摩市に会社・寮などあるチームはあるか？（役員会 金田）

→該当チームなし

・2カ月前に予約するグラウンドがあるが、その場合何か問題はありますか？（JFE 古川）

→調整可能であり、問題はない。（主幹事 横田）

■11/22（土）兼松Gでの会場ブッキングについて

11/22（土）兼松Gにおいて別の団体と会場がダブルブッキング、開始時間が45分遅延した。

当日集合していた4チーム（伊藤忠、JFE商事、蝶理、阪和興業）の皆様にはご迷惑をかけた。

対策として予約者が共通で確認可能なカレンダーを作成した。今後の再発防止に努める。（主幹事 横田）

■レッズランドについて

・レッズランドを使ったチームの感想は？（役員会 金田）

→特に問題はなかったが、使用不可な場所もあり試合前のアップ場所確保などが課題である。（JFE 古川）

※商社リーグ立て直しのために大事であったこと → 人材とグラウンドについて特に注力

●グラウンド

商社リーグ全体でグラウンドを共有できるように改革

→しかし近年、使用可能なグラウンドが減少、確保が困難になってきている

●人材

役員会という中長期的な観点で物事を見ることは重要

→役員会の人数を増やして、今後さらに積極的な活動をしていきたい。

よって、役員会に興味がある人は立候補して欲しい。

④その他

■商社合宿に関して

・過去もっとも多い時の合宿参加者数が100人程であったが、昨年度は76名とそれに迫る勢いであった。（役員会 金田）

・今年度の商社合宿に関して（役員会 ナジブール）

【現在予定している合宿地】J-wings（群馬）

グラウンド	人工芝1面
宿泊施設	160名利用可能
アクセス	都心から高速で約2時間 (10から5分ほど)
予定費用	1万円程度
日程	3/6（土）から3/7（日）
利点	宿舎とグラウンドが近い 宿舎がきれいで、広い

- 昨年度と一昨年度の2回参加したが、グラウンドはどちらも良かった。(兼松 横田)
- グラウンド1面のみで試合はまわせるのが懸念である。(住友 島本)
- 昨年度参加していないが、日程と場所の問題はない。(長瀬 倉知)
- 問題ない。ただし1面で回せるかが懸念である。(岩谷 村松)
- 日程は大丈夫。グラウンドは2面ある事が望ましいが、1面でも参加する。(双日 天野)
- 個人的に予定が入っているが、チーム内へ呼びかけを行う。(日立 佐々木)
- チーム内では3月の第2週を想定していたため、再度調整を行う。(JFE 古川)
- グラウンドが1面のみで足りるかを判断する為にも、おおよその人数を把握したい。(役員会 金田)

(※参加予定メンバーおよび参加努力目標人数に関しては、以下の通りである)

前回参加チーム	前回不参加チーム
兼松・・・4人	阪和・・・3人
住友・・・5人	三菱・・・未定
長瀬・・・4人	大倉・・・未定
岩谷・・・11人	住金・・・5人
双日・・・16人	ユニシス・・・3人
日立・・・4人	三井・・・未定
丸紅・・・3人	豊通・・・5人
JFE・・・11人	蝶理・・・3人
伊藤忠・・・6人	

【総計】83名

- 当日雨が降った場合を想定して人工芝を選択するのであれば現時点ではJ-wingsしかない。(役員会 金田)
- 人工芝でなくても可能であれば他にも候補地はある。(ナジブール)
- 例年、30分ゲームを4～5試合行っている。(役員会 金田)

合宿日程および場所について、代表者による多数決を実施 (各チーム1票)

案A : 3/5～6の日程でJ-wings(=人工芝・1面) ←日程重視
⇒ 12チーム

案B : 3/12～13の日程で他の候補地(=天然芝・2面) ←場所重視

【結論】今年度の合宿は3/5～6の日程で実施する。場所はJ-wings@群馬。
⇒各チーム1月末までに大体の人数を役員会へ報告する

- ナイターを利用し利用時間を延ばす、もしくは2面利用できるように引き続き交渉する。(役員会 ナジブール)

■表彰式について

- ・今年度も表彰式と同日にフットサル大会を実施するか。(役員会 金田)
- 全員賛成

【結論】表彰式ならびにフットサル大会を2月20日に開催する

- ・副幹事(フットサル大会・表彰式担当)の準備状況は大丈夫か。(役員会 金田)
- 年明けより着手し進めていく方針である。(長瀬)
- 昨年度副幹事の豊田通商からの引継ぎをしっかりと実施して準備するように。(役員会 金田)

・表彰式に対する姿勢

- フットサル大会にのみ参加して帰る人が多いが、メインは表彰式である。
- 各チーム3人なので50～60人の参加を見込んでいる。年に1度なので各チーム出席するよう。
- 特にシーズン得点王など個人表彰される人はぜひ出席するように呼びかけを。(役員会 金田)
- (※得点王・・・1部：三菱商事 篠原 2部：岩谷産業 市原、佐々木)

・おわりに

■商社会議に参加して感じたこと

- ・今シーズン開幕の頃と比較して活気がある。(住金 富田)
- ・各チームがリーダとしての考えをもってリーグを運営していると感じた。(ユニシス 堀)
- ・パワーをもった商社リーグの裏側を見ることができ、とても良い経験になった。(住友 郡司)
- それをぜひ自分のチーム内へ伝えて欲しい。情熱を感染させて欲しい。(役員会 金田)
- ・チーム内にまだ商社リーグのマインドが浸透していない部分があるので、浸透させていきたい。(蝶理 川瀬)
- ・今季もラストスパートに入ったと感じる。最後盛り上げて来季につなげたい。(大倉 大谷)
- ・商社リーグ運営に携わることによるやりがいをととても感じている。役員会に参加していなければできない経験は多い。これから商社リーグに貢献したいという人は、是非役員会に入って欲しい。(役員会 今村)
- ・最後の会議が一番達な会議となったと感じる。
- ぜひ来季にも良い形でつながるよう、各チームしっかり引継ぎをして欲しい。(役員会 ナジブール)
- ・これから確実な引継ぎ実施して、より良い体制作りに努める。(伊藤忠 横道)
- ・主幹事を担当することで、自分から参加するという当事者意識を強く持つようになった。
- 今後この経験を活かしてチーム運営に尽くすと共に、後輩へ伝えていきたい。(主幹事 加茂)
- ・最初は不安だったが、役員会および各チーム代表者の皆様のおかげでやり遂げることができたと感じている。
- 主幹事を担当し商社リーグのマインドをチームに落とし込むことができた。またリーグシップの重要性強く実感した。
- 来季は優勝争いに食い込めるよう、プレイヤーとしてぜひ頑張りたい。(主幹事 横田)
- ・これから入替戦、表彰式、合宿とイベントがまだ残っているが、
- 最後(来年7月の引き継ぎ)まで気を引き締めて次につなげていこう。(役員会 金田)

※次回までのアクション

■次回までのアクション

担当	期限	内容
主幹事	2010/12/17(金)	審判・MC改善案、グラウンドに関する意見提出用 フォーム作成
全チーム	2010/12/31(金)	審判、MC改善案、グラウンドに関する意見提出
全チーム	2011/1/31(月)	合宿のたまかな出席人数の報告

以上